

4

やりたいこと一覧

4.1	帳票を作成したい！	4-2
4.2	表示器からパソコンへ読み込みたい！	4-2
4.3	パソコンから表示器へ書き込みたい！	4-3
4.4	Mail で警報を知らせたい！	4-3
4.5	任意のアプリケーションを起動させたい！	4-3
4.6	機器間でデータのやりとりをさせたい！	4-4
4.7	現場の状況をオフィスで監視したい！	4-4
4.8	独自のプログラムを設計したい！	4-4

4.1 帳票を作成したい！

帳票を作成したい！	
表示器や接続機器から読み込んだデータをもとに、管理表や報告書など、Excelを使用した各種の帳票を自動的に作成できます。生産現場でよく使用される帳票の形式に対応したテンプレートも豊富に用意されています。	☞「第5章 Excelで帳票を作成したい！」

4.2 表示器からパソコンへ読み込みたい！

CSVファイルへ読み込みたい！	
表示器や接続機器の複数のデータを読み込み、CSV形式のファイルに書き込みできます。	☞「第7章 接続機器のデータをCSVファイルに書き込みたい！」

Excelファイルへ読み込みたい！	
表示器や接続機器の複数のデータを読み込み、Excelファイルの指定したセル範囲へ書き込みできます。	☞「第6章 接続機器のデータをExcelファイルに書き込みたい！」

データベースへ読み込みたい！	
表示器や接続機器の複数のデータを読み込み、指定したリレーショナルデータベースへ書き込みできます。	☞「第8章 接続機器のデータをデータベースに書き込みたい！」

ファイリングデータを読み込みたい！	
表示器のバックアップSRAMやCFカードのファイリングデータを読み込み、Excelファイルへ書き込みできます。	☞「第17章 表示器のファイリングデータをExcelに書き込みたい！」

表示器のキャプチャ画面を取り込みたい！	
表示器のキャプチャ画面（JPEGファイル）を自動または手動で取り込みし保存できます。	☞「第11章 表示器のキャプチャ画面（JPEG）を取り込みたい！」

4.3 パソコンから表示器へ書き込みたい！

CSV ファイルのデータを書き込みたい！	
パソコン上の CSV ファイルのデータを読み込み、表示器や接続機器の指定したデバイスへ書き込みできます。	☞「第13章 CSVファイルのデータを接続機器に書き込みたい！」

Excel ファイルのデータを書き込みたい！	
パソコン上の Excel ファイルのデータを読み込み、表示器や接続機器の指定したデバイスへ書き込みできます。	☞「第12章 Excel のデータを接続機器に書き込みたい！」

データベースのデータを書き込みたい！	
リレーショナルデータベースのデータを読み込み、表示器や接続機器の指定したデバイスへ書き込みできます。	☞「第14章 データベースのデータを接続機器に書き込みたい！」

ファイリングデータを書き込みたい！	
パソコンに読み込んだファイリングデータを編集し、表示器のバックアップ SRAM や CF カードへ書き込みできます。	☞「第18章 読み込んだファイリングデータを表示器に戻したい！」

4.4 Mail で警報を知らせたい！

Mail で警報を知らせたい！	
データの変化など設定した事象が発生した場合、あらかじめ設定しておいた警報などのメッセージを電子メールで送信できます。	☞「第15章 Mail で警報を知らせたい！」

4.5 任意のアプリケーションを起動させたい！

任意のアプリケーションを起動させたい！	
データの変化など設定した事象が発生した場合、『メモ帳』など任意のアプリケーションソフトを起動できます。	☞「第16章 任意のアプリケーションを起動したい！」

4.6 機器間でデータのやりとりをさせたい！

機器間でデータのやりとりをさせたい！	
<p>パソコンを接続していない状態でも、表示器に接続されている接続機器間でデータを互いにやりとりできます。接続機器やデータの種類に関係なく、データの共有化が行えます。</p>	<p>☞「第19章 機器間でデータをやり取りしたい！」</p>

4.7 現場の状況をオフィスで監視したい！

機器の稼働状況を監視したい！	
<p>各参加局や接続機器の状況（スキャンタイムやエラー情報など）をモニタできます。</p>	<p>☞「28.2 稼働状況を監視したい！」</p>

機器のデバイス値を見たい！	
<p>指定したデバイスの現在値をモニタできます。連続したデバイスアドレスのデバイス値を確認する場合に便利です。また、デバイス値の書き込みも行えます。</p>	<p>☞「28.3 デバイス値を見たい！」</p>

機器のデバイス値をシンボル単位で見たい！	
<p>指定したシンボルの現在のデバイス値をモニタできます。シンボル単位でモニタできるため、連続していないデバイスアドレスのデバイス値を一括して確認する場合に便利です。また、デバイス値の書き込みも行えます。</p>	<p>☞「28.4 シンボル値を見たい！」</p>

発生したエラーやメッセージを確認したい！	
<p>動作中、または過去に発生した『Pro-Server EX』のエラーや各種メッセージなどのログを確認できます。</p>	<p>☞「28.5 システム稼働ログが見たい！」</p>

4.8 独自のプログラムを設計したい！

独自のプログラムを設計したい！	
<p>「Pro-Server EX API」を使用することにより、VB（『Visual Basic』）、VC（『Visual C++』）、VB.NET や C#.NET で作成したアプリケーションプログラムから表示器や接続機器のデバイスにアクセスすることができます。</p>	<p>☞「第27章 独自のプログラムを設計したい！」</p>